

おのじゅんいち
小野順一



支所庁舎の有効利用を

質問
空き部屋を団体などの事務所として、貸し出しはできないか。

答弁 市長
団体などの事務所となると、不特定の個人・業者の出入りが考えられ、セキュリティ（安全・防犯）上の危険性が心配されます。今後は、集中改革プラン



▶ 村長室が今は図書室に（千歳町）

の中で公共施設の見直しを行い、利活用を積極的に検討していきたい。

夢のもてる農業に

質問

堆肥の有効利用として炭素化する技術が開発されています。炭素の特性を農業に活用し、安全・安心なものがづくりのための「プロジェクトチーム」を結成しては。

答弁 産業経済部長

近年は、バイオ技術の著しい進歩が見受けられます。こうした技術をいかに農業に取り入れていくか、県の試験機関や大学、農業団体、民間企業との連携を図りながら取り組みを進めていきたい。

ながのけんじ
長野健児



農地、水、環境保全向上対策

質問

この事業の取り組み状況は。

答弁 産業経済部長

全国的に高齢化、混住化が進む中で、農業者だけでなく自治会、地域住民が一緒に資源を守る、それを支援する事業です。

今まで資源保全の対象となっていなかった平坦地域や畑地を中心に推進します。この事業は、農振農用地が対象となり、水田で約200ヘクタール、畑で約800ヘクタールほどの要望が出ています。

ふるさと

イキイキ事業

質問

この事業の効果をどのように捉えているのか。また、方向性は。

答弁 市長

周辺部対策の一環として、本年度から3年間取り組む事業で最重要施策の一つです。

実施初年度としての事業効果は大きいと判断しています。地域を活性化させる主体的な事業展開を期待します。

答弁 企画部長

地域住民と手を取り合って取り組みたい。

また、各町の特徴あるイベントを大事にし、市民の皆様からの提案を取り入れていきたいと思えます。



◀ 犬飼名物どんこ釣り大会
…毎年5月5日に開催